

## 認定事業再構築計画に係る内容の公表

1. 認定した年月日 平成 16 年 8 月 23 日
2. 認定事業者名 スカイネットアジア航空株式会社

3. 認定事業再構築計画の目標

- (1) 事業再構築に係る目標

スカイネットアジア航空株式会社は、平成 9 年に設立され、平成 14 年 8 月に羽田 - 宮崎間、平成 15 年 8 月に羽田 - 熊本間において航空運送を開始し、低コスト・低料金による航空運送事業（LCC：ローコストキャリアー）を目指して業務を行ってきた。しかしながら、初期投資資金の不足等により営業全般の基盤が脆弱であり、資本の充実により事業基盤の確立を図る必要があった。

今般、株式会社産業再生機構（以下「産業再生機構」という。）の支援の下、42 億円の出資（うち 21 億円を資本金に組み入れ）等の措置を受け、これをシステム投資・事業拡大投資・新規路線開発投資等に振り向けることによって航空運送事業の生産性向上及び財務健全化を実現し、もって LCC としての経営体制の確立を目指すことが可能となる。

- (2) 生産性の向上及び財務の健全性の向上を示す数値目標

- 生産性の向上について

平成 19 年 3 月期には、平成 16 年 3 月期に比べて、従業員一人当たり付加価値を 355.1%向上させる。

- 財務内容の健全性の向上について

平成 19 年 3 月期には有利子負債はキャッシュフローの 0.83 倍とし、経常収入は経常支出を上回る（経常収支比率は 103.4%）。

4. 認定事業再構築計画の概要

- (1) 事業再構築に係る事業の内容

- 中核的事業

- 「航空運送事業」

選定理由

定期航空運送事業の売上はスカイネットアジア航空株式会社の総売上の 98% を占めており、その徹底的な強化を図る必要がある。

#### 事業再構築に係る事業の内容

平成 16 年 8 月までに、産業再生機構から 34 億円、宮崎県中小企業等支援ファンド投資事業有限責任組合から 2 億円、米良電機産業株式会社から 6 億円、それぞれ金銭払込による出資を受けて増資（時価発行増資）し、もって航空運送事業の生産性を向上し、かつ財務内容の健全化を実現する。

その資金を用い、圧倒的ローコストの実現、低価格/高回転による収入確保及び機材効率の向上、新路線展開を目指し、このビジネスモデルにより、平成 16 年 3 月期から平成 19 年 3 月期までの期間の旅客運送売上高を 38.3% 以上向上させることを目標とする。

#### (2) 事業再構築を行う場所

本社 : 宮崎県宮崎市大字赤江字飛江田 148  
SNA センター : 宮崎市橘通三丁目 1 番 11 号アパイル 1 階  
宮崎空港支店 : 宮崎市大字赤江（宮崎空港内）  
東京営業支店 : 東京都港区浜松町二丁目 2 番 15 号 浜松町アパイル 2 階  
東京空港支店 : 東京都大田区羽田空港 3 丁目 3 番 2 号西旅客ターミナル 4 階  
熊本営業支店 : 熊本県熊本市下通一丁目 4 番 10 号  
熊本空港支店 : 熊本県上益城郡益城町大字小谷（熊本空港内）

#### (3) 事業再構築を実施するための措置

別紙のとおり

#### (4) 事業再構築の実施時期

開始時期 : 平成 16 年 8 月  
終了時期 : 平成 19 年 3 月

#### (5) 事業再構築の労務に関する事項

事業再構築の開始時期の従業員数	291名
事業再構築の終了時期の従業員数	296名
事業再構築に充てる予定の従業員数	296名
中、新規採用される従業員数	5名
事業再構築に伴い出向又は解雇される従業員数	なし